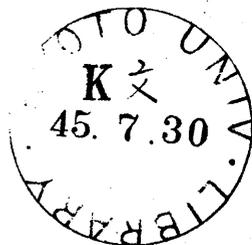


FRANCIA

NUMÉRO 9



- パスカルの護教論に於ける理性, そして心情
山崎信二(1)
- 『ラモーの甥』の逆説
佐藤和生(12)
- ユゴーにおける「自然」について
大橋寿美子(28)
- ヴィクトル・ユゴーの詩における
ポナバルチスム
—十九世紀ナショナリズムと文学—
西川長夫(39)
- ルイ・ランペール
—バルザックによる知的な青年主人公の創造—
黒崎靖子(57)
- 「社会生活の病理学」と「パリ生活場景」
の主題
—「パリ生活場景」論(1)—
西川祐子(65)
- ブルーストにおける彷徨と探求
—『失われた時を求めて』における
塔の形象をめぐる—
飯田龍天(75)
- 「芸術論集」と想像力
筏圭司(90)
- 話法定法の歴史的考察
福本直之(97)

—京都大学フランス文学研究—

1965

京都大学附属図書館

Kyoto University Library

編集後記

期せずして、或る作家、或る時代についての論文が集まることがあり、その特集みたいな体裁をとることもありますが、今回は比較的、広い範囲にわたり、多彩な感をもつにいたしました。次号では、研究対象が多彩なばかりでなく、執筆者ももっと多彩な顔ぶれになることを願っております。今年から維持会員制というものははじめ、そちらの方からも原稿を募集することになりましたから、ふるって応募してください。今回は維持会員の方の論文は二篇にとどまりました。

フランスでも発刊いらい八年をかぞえるにいたしました。知らず知らずの中にこの小雑誌にも一つの特徴が生まれつつあるでしょう。多種多彩な

顔ぶれが無意識の中につくってしまおうといったそんな特徴ができあがるのを楽しみにしています。来年も力作のかずかずを編集員一同待っています。
(高藤)

編集委員

(会員)

佐藤和生

飯田龍天

高藤冬武

山本美齊

宇佐美

山田 田田 総関

[維持会員]

執筆者紹介

山崎信二	大学院博士課程在学
佐藤和生	大学院博士課程在学
大橋寿美子	大学院博士課程在学
西川長夫	大学院博士課程修了
黒崎靖子	京都大学文学部助手
西川靖子	大学院博士課程在学
飯田祐子	大学院博士課程在学
篠田龍天	京都大学文学部卒業
福本直之	大学院博士課程在学

FRANCIA — 9 —

1965 12. 25 印刷

¥ 400

1965 12. 28 発行

発行 京都大学フランス文学研究室
京都市左京区吉田本町京都大学文学部内
振替・京都 8 0 8 7